

新型コロナワクチンの効果等に関するデータについて

令和4年1月7日
長野県健康福祉部

【概要】

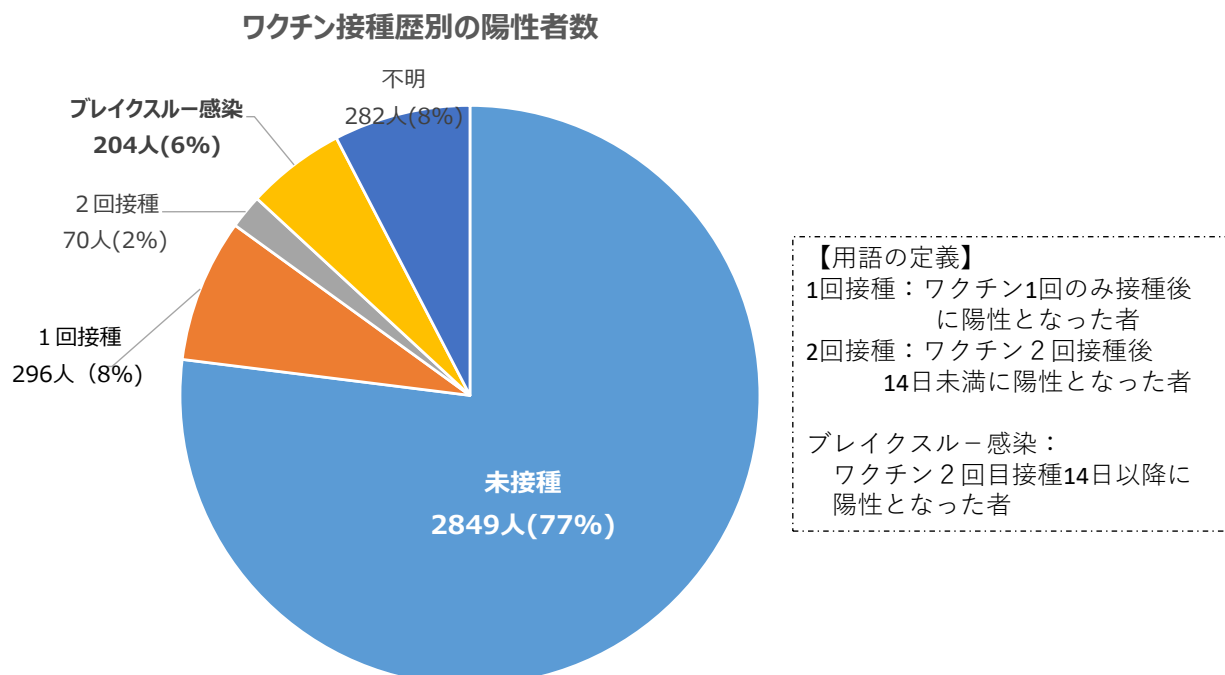
2021年7月1日～2021年9月30日（県内第5波）に、新型コロナウイルス感染者として長野県内の保健所に発生届が提出された計3701例について、2021年12月10日時点の情報を基に分析した
（長野市・松本市分を含む）

1

第5波陽性者のワクチン接種状況

N = 3701

◆ 陽性者の77%がワクチン未接種、6%がブレイクスルー感染であった

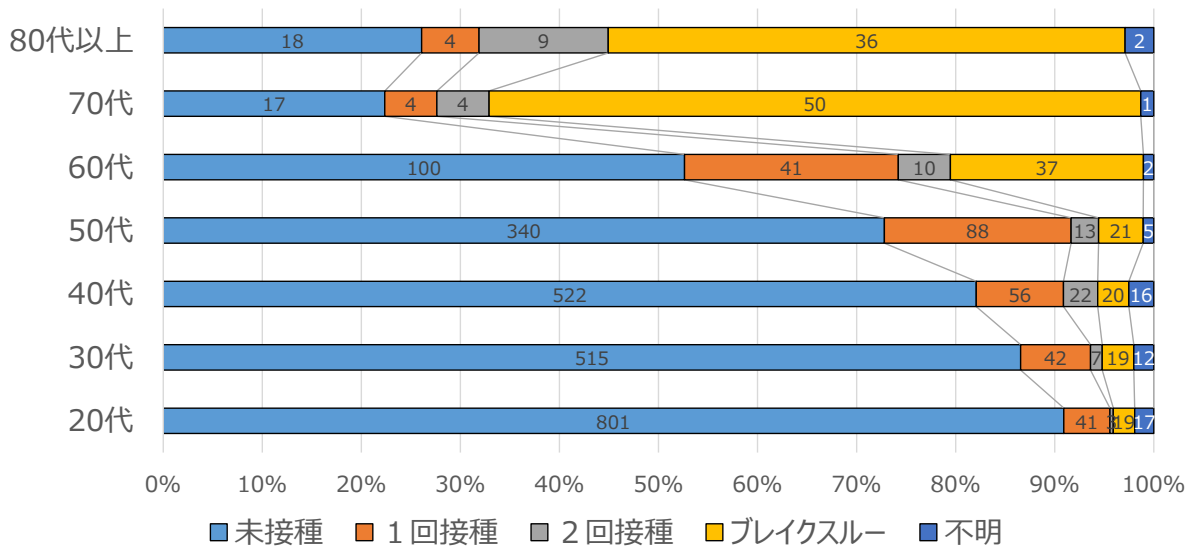


第5波陽性者の接種状況（年代別）

N=3701

- ◆ 60代以上でブレイクスルー感染の割合が増加し、70代以上では5割以上を占めている

年代別陽性者の接種状況（人）



3

重症化リスクのない陽性者の重症度経過

N = 2417

- ◆ 重症化リスクのない陽性者と比較すると、未接種の陽性者は届け出時に無症状・軽症であっても中等症へと重症化する割合が高い。

ワクチン接種歴	当初症状	療養中の最も重い重症度			計
		無症状 軽症	中等症	重症	
未接種	無症状 軽症	1718 (93%)	130 (7%)	0	1848
ブレイクスルー 感染	無症状 軽症	88 (96.7%)	3 (3.3%)	0	91

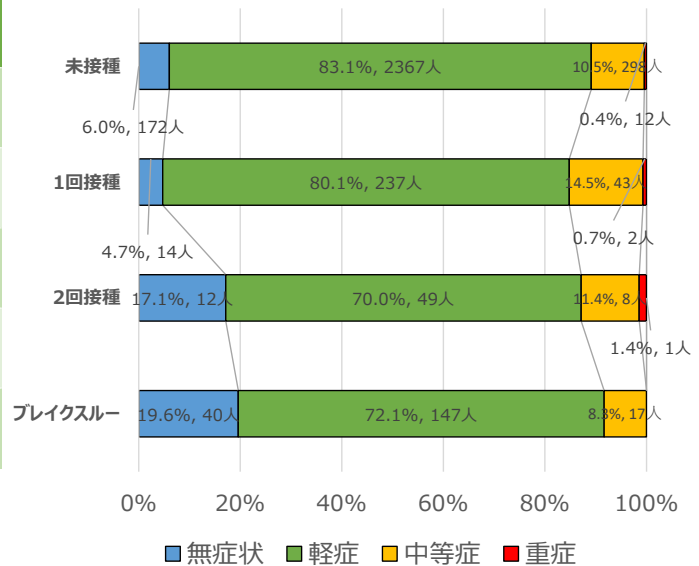
接種状況とその後の重症化について

N = 3419
接種歴不明282人除く

- ◆ 接種回数の増加とともに中等症・重症の割合が減少している
- ◆ ブレイクスルー感染者では、重症者はみられなかった

	無症状	軽症	中等症	重症	合計
未接種	172	2367	298	12	2849
1回接種	14	237	43	2	296
2回接種	12	49	8	1	70
ブレイクスルー	40	147	17	0	204
合計	238	2800	366	15	3419

各接種状況と重症化（最重症時）

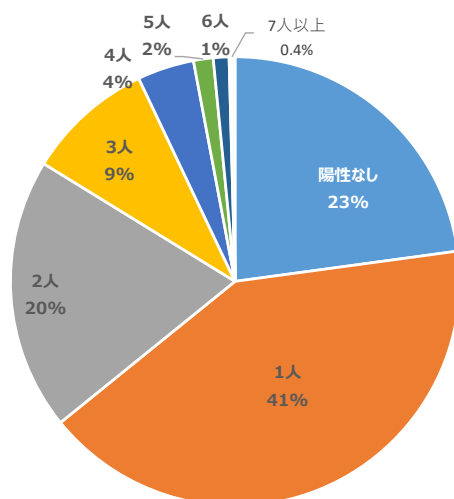


濃厚接触者が陽性となった割合

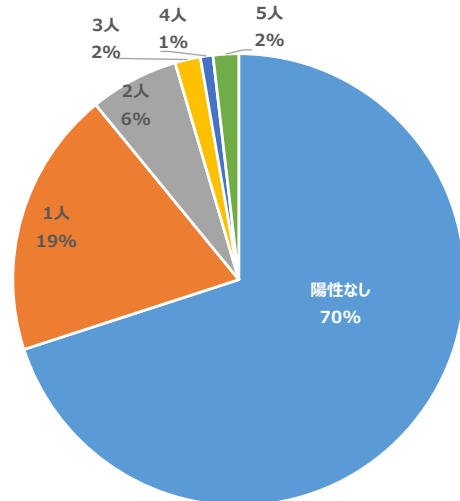
- ◆ ブレイクスルー感染者に比較してワクチン未接種陽性者の方が、周囲の濃厚接触者が陽性となる割合が多い

陽性者1人あたり濃厚接触者のうち陽性となった者の人数

ワクチン未接種陽性者 N=709



ブレイクスルー感染 N=110



陽性者1人あたりの濃厚接触者のうち陽性となった者の人数 平均 1.4人

平均0.4人